

What is 分科会? (2021年版)

7つの分科会活動を通して楽しみながら英語力、国際力を養い、交流活動を！
もっと素敵な IIN にするのが分科会です！

目次(各分科会をクリック)

- [1 通常例会分科会](#)
- [2 公開例会分科会](#)
- [3 ホームページ分科会](#)
- [4 国際交流分科会](#)
- [5 野外活動分科会](#)
- [6 Workshop 日本文化紹介分科会](#)
- [7 新企画分科会](#)

分科会の目的は？ どのような事をしているのでしょうか？

1. 通常例会分科会

例会にゲストスピーカーをお呼びするのが主な仕事です。

例会当日までの事務と当日の仕事 に大きく2つに分かれます。

1) 例会当日に向けての準備

- ・ゲストスピーカーに依頼。 会員からの推薦や情報により決めます。
- ・ゲストスピーカーに招待状を発信し、メールで諸連絡を開始。
- ・器材(マイク、プロジェクターなど)を会場事務所に予約。(必要によっては、WIFIの予約。)
- ・会員に例会案内メール発信。(1週間前)

2) 例会当日

- ・ホワイトボードに当日のゲスト名・スピーチのタイトル・今後のゲストスピーカー予定者を明記。
- ・事務所から届いている器材の設置(現在はホームページ分科会の方が準備してくださっています。レーザーポインターは会計が当日の支払いの時取りに行ってください)
- ・ゲストスピーカー用飲み物の用意。(受付当番が購入)
- ・ゲストスピーカーの紹介・Q&A までの司会

ゲストスピーカーは会員からの推薦も多く、ゲストスピーカーもその後開催される交流イベントへ参加して下さったり、何度もプレゼンをして下さる方も増えています。ただ近年木曜日の午前中に来てくださるゲストスピーカーを探すのが難しくなっています。外国人の方も働いておられる方が多いのです。そのため、どうしても見つけることができなかつた場合には、語学学校に講師派遣協力をお願いすることも可能です。

仕事は分担できますので、活動の負担は多くないと思います。
例会のためにご協力をお願いします。

昨年度は残念ながら、数回しか行えませんでした。このコロナ禍でかえって交流が深まり、MISCA(ミネアポリス市・茨木市姉妹都市協会)との定例ズーム交流や six words を考えるゲーム、メールや写真のやり取りなど、活発な活動をいたしました。活動の中心になる分科会です。是非ご参加ください。

[目次に戻る](#)

2. 公開例会分科会

例年 9 月に開催される公開例会は2012年から始まり、市の広報誌にも掲載され、2019 年で 9 回を数えた恒例行事です。

公開例会では、IINの活動を知っていただくと共に、IINへの入会を呼びかける場になればとの思いで、通常例会の枠を広げ、会員及び一般の方々への参加募集を行います。

毎年、国内外のゲストスピーカーをお招きし、興味ある講演に加え、歌や楽器演奏や体験ワークショップありの楽しいひと時を、会員と一般参加者で共有しています。

通常、“公開例会分科会“では、ゲストスピーカーの発掘、プログラム作成、準備、会場設営、当日の受付・進行など、素敵な公開例会をメンバーで作っていますが、昨年度は残念ながらコロナ禍での開催は中止となりました。

今年度は、会場開催は難しい？Zoom で出来ないかな？など実現する道を共に考えるメンバーを募っています！

みなさま、コロナに負けず、一緒に素敵な「第 10 回公開例会」をつくりませんか？どうぞ奮ってご参加ください！！

【過去の公開例会】

2016 年 第 6 回 英語で俳句 Mr. Stephen Henry Gill

2017 年 第 7 回 杉原美智さんの講演 『杉原千畝を語る』

2018 年 第 8 回 英語落語 小夜姫さん

2019 年 第 9 回 日本初の外国人杜氏 フィリップ・ハーパー氏

[目次に戻る](#)

3. ホームページ分科会

作業の内容

IIN の活動を記事、写真などで記録し、ホームページにアップする作業を担当しています。コロナ禍の昨年と今年は予定通りに動けませんでした。例年、毎月 2 回の通常例会(外国人ゲストによる講演)の概要をまとめることが中心です。また、公開例会、ワークショップ(日本文化紹介など)、アウトティング(野外活動)、ランチ交流会、JICA 関西訪問、ミネアポリス市民との交流会などの記録も、各分科会の協力も得て作成しています。

作成の手順

通常例会の講演はほとんど、外国人により英語で行われるのでプレゼンテーションの内容を録音するとともに、パワーポイントを使ったスライドの写真の提供を受けて、担当者が 1 週間から 10 日かけて草稿を作ります。

HP 作りは 3 人が原則、順番に担当し、出来た草稿を他の 2 人と IIN 運営委員、さらにゲストスピーカーにメール送信し、間違いなどのチェックを受けた後、HP にアップします。

HP 班はメンバーだけが利用できるネット上の drop box を利用しています。ここに録音内容と写真などを格納しますので、原稿作り当番の人は、聞き取れなかった音声を聞き直すことができると同時に、他のメンバーにも聞いてもらってサポートしてもらうことができます。3 人以上にもう一人サポート役がいます。

スピーチしてくれるゲストを探すのは例会分科会の役目で、講演のテーマは 1 週間ほど前に会員にメール送信されるので、ネットなどからある程度、関連情報を得られる場合があります。

HP は 2008 年に立ち上がり、かなりの先輩たちが守り続けてきました。現在のメンバーはともに高齢なので、「持続可能」なものになるよう新しい方の参加を心から期待しております。

ホームページ作成意義

IIN の諸活動を記録し、HPに残す事は、歴史を刻んでいく事と言えます。先人達が積み重ねてきた営み、そして、今まさいに行われている活動を後世に伝える使命があると思います。

[目次に戻る](#)

4. 国際交流分科会

2 年前に名称を変更して作られた分科会で、姉妹都市ミネアポリス市との長年の交流を大事に継続し、幅広い国際交流を目指しています。

2020 年度、新型コロナ感染パンデミックの厳しい状況下で、MISCA 会長のカールさんから IIN に二つのご提案を頂きました。1) MINNIBARAKI 配信、2) ZOOM 交流です。

- 1) MINNIBARAKI は MISCA (ミネアポリス市・茨木市姉妹都市協会) の web ニュースレターで年に 4 回配信されます。カールさんが、2020 年の 5 月に茨木市との姉妹都市 40 周年を記念して第 1 号を配信されました。現在第 5 号まで配信されています。
- 2) MISCA との ZOOM 交流は、今年の 1 月から会員参加の交流として毎月行われています。

《2021 年度 分科会の活動内容》

- 1) MINNIBARAKI にコーナーを設けて頂き、日本文化に関する情報(第 5 号は「こどもの日」)を掲載。今後もしできる範囲で「日本」を発信していきたいと考えています。
- 2) 5 月から、MISCA との ZOOM 交流の中に「プレゼン・タイム」を作って頂き、1 回目は「こどもの日」のライドショーを発表。今後もカールさんをご相談の上、日米の皆さんでプレゼン・タイムを作っていくことができれば幸いです。

現在、分科会には 8 名の仲間がいます。上記の MISCA との交流だけでなく、「こんなことはできないかな、あんなことをしたいなあ」と夢を語り、その実現に向けて色々なアイデアをおしゃべりしています。「夢の話」はいつもワクワクでいっぱいです！

当面、分科会は第 3 水曜日の午前中に、ZOOM で行っております。国際交流分科会を一度覗いてみませんか。お待ちしております。

If you can dream it, you can do it. — Walt Disney

[目次に戻る](#)

5. 野外活動分科会

野外行事は、会員と例会に来て下さったゲストスピーカーや留学生との交流の場として例年秋に行い、その準備は5月頃からスタートし、以下のステップで実施致しています。

- 1) 行先の選定 : 日本文化が体感できる所、団体行動に支障のない所(約50人規模)、公共の交通機関を利用できる所等を考慮して候補地を挙げ、分科会で協議します。
- 2) 計画案の作成: 行先を絞り込み、総費用の見積もり、IIN補助金、個人負担額の試算をします。併せて当日の集合から解散までのタイムスケジュールを立案します。
- 3) 下見 : 計画案に基づいて分科会メンバーで下見を行います。
集合場所、乗降および乗換場所、歩行ルート、休憩場所(食事を含む)等の確認を行います。更に外国人を含む団体での移動であり、安全対策も検討します。
- 4) 会員、外国人への開催、募集のお知らせ : 運営委員会で計画の承認を頂いた後、関係先に参加を呼びかけます。例年、会員30名、外国人15名程度参加します。
- 5) 最終計画作成: 参加人員が固まった段階で、天候不順時の対策と代替案、関係者間の連絡網、班編成、当日の役割分担等を作成します。
- 6) 当日 : 集合から解散まで、参加者が各役割分担に従って協力し合い、楽しい一日を過ごせることができれば成功です。
- 7) 実績 : 2015 年京都東山界隈散策
2016 年奈良市内散策
2017 年京都二条城 御所散策
2018 年神戸市散策
2019 年京都宇治散策 を楽しみました。

例年は以上のような活動をしています。2020年のコロナ感染パンデミックにより、野外行事自体の実施は難しくなりました。現在は、「英語でガイド勉強会」と名付け、野外行事の再開に備え、選択肢を準備すべく、近隣の名所を英語で紹介する勉強会を月1回(第三金曜)zoomを使って行っています。

野外活動は国際交流を通して会員同士が楽しく交流することを目的としています。
今は勉強会、近く野外行事ができる状況になれば、企画立案からボランティアガイドまで、この活動と一緒に楽しみませんか？皆様の野外活動分科会への参加をお待ちしています。

[目次に戻る](#)

6. Workshop 日本文化紹介分科会

この workshop は、外国人ゲストをお招きし、てんこ盛りの日本文化を存分に楽しんで頂こうという企画です。毎年、6月の第三土曜の例会当日に行われ、分科会員が4つの班に分かれて前日までの準備及び開催当日の進行にあたります。

4つの班とは

- * 日本の遊び班… 前回は、「折り紙」がテーマでした。最初、折り紙の歴史的背景などを説明して、いよいよ実地体験の時がやってきます。日本人には簡単な山折も谷折も四苦八苦のご様子ですが、繊細な芸術作品に笑みがこぼれます。ご自身で作成されたものをお土産として持ち帰って頂きました。折り紙だけではなく日本には沢山の「遊び」があります。一緒に楽しみましょう。興味のある方「このゆびとまれ！！」
- * 書道班… 初めに書道の歴史や魅力をレクチャーし、次にゲストに好きな漢字を選んで頂き、その漢字を練習するお手伝いをします。漢字の魅力に心を奪われ夢中になるひと時です。何度も漢字の意味を噛みしめ、墨と筆の感触を楽しまれているようです。最後に入魂の作を色紙に仕上げてください、お土産として持ち帰って頂きました。色紙を大事そうに抱えるゲストのお姿は心に沁みます。是非お力添えください。
- * 着付け班…… 振袖の着付けの実演をし、和装特有の格や用途の説明についての解説をします。その後は参加者ゲスト全員に着付けをして差上げます。着物を着たゲストの目が輝き、これで一気に会場の雰囲気華やきます。事前にゲストの人数分の着物セット作りをしたり、普段から着付け練習もしています。コロナで自粛令の今は、少しでも着付けの腕を落とさないよう、又、虫干しも兼ねて、手持ちの好きな着物や若かりし頃の着物を着て、着物に関する話題やクイズ形式で着物の知識を深める「着物で ZOOM」という事を試みています。ご興味のある方、一緒に楽しみませんか？
- * 茶道班…… 着付けが終わったゲストにそのままお茶室に入って頂きます。そして、お点前の実演をしつつ、茶道の精神や簡単なお作法の解説をします。「和敬清寂」の意味を理解して、ゲストは神妙な面持ちで窮屈な畳の上での所作にも真剣に取り組まれます。いよいよ美味しいお抹茶やお菓子の登場に思わず笑みがこぼれ、会場に温かい空気が流れ始めます。「一期一会」の精神を大切に、心からのおもてなしを実践します。皆様の笑顔が国際交流の懸け橋となります。どうぞご参加くださいますようお願いしております。

以上4つのコーナーの終了後、グループトークの時間を設けます。どのグループからも弾んだ声が聞こえてきます。さあ、あなたもとびきりの笑顔に出会ってみませんか！？

例年、大勢のゲストをお招きして賑やかに workshop を開催しておりましたが、今年は新型コロナによる緊急事態宣言下で、残念ながら中止を余儀なくされてしまいました。

来年度こそ開催できるものと期待しております。その際には皆様のご参加を心よりお待ちしております。

[目次に戻る](#)

7. 新企画分科会

何か新しい、面白いことはないかなあと、日頃からキョロキョロしている分科会です。

2年前にできたばかりですので、コロナ禍の中、何も過去の実績はありませんが、逆に何も制限がありません。例えば、今年はまず、こんなことを計画しました。

6月上旬 ZOOM を始めてみたい会員の皆様対象に、遠隔でご指導・お手伝い。

6/19 「ZOOM お試し会」:ZOOM 経験者・ZOOM 初心者の皆さん、一堂に集合しませんか。なかなか会えない会員同士の笑顔の交換会です。

7/1 「ズームアプリを入れる講習会」:ZOOM を始めたい会員の皆様に、対面でご指導・お手伝い。

今後も、皆様のお役に立てる事、面白い事を柔軟に計画・実施していきたいと思っています。好奇心のある方、既存の隙間を探すのがお好きな方、この分科会に最適の人材です。あなたのやりたい「何か」を是非ご一緒に致しましょう。

[目次に戻る](#)